環境、つなぐ未来。

NICHICON

NIPPON CONCEPT CORPORATION

第27期 中間報告書

2020年1月1日 ▶ 2020年6月30日



日本コンセプト株式会社

証券コード：9386

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第27期第２四半期連結累計期間（2020年１月１日から2020年６月30日まで）における当社の取組みと成果を、ご報告申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大が止まらず、世界経済は深刻な状況に直面しています。自動車・建設の需要減少やロックダウン等の余波を受け、化学品業界におきましても世界的な不振が続いております。

当社は、このような厳しい状況のもと、全社挙げての営業活動を展開し、国内での取引獲得に力を入れるなど、業績の落ち込みを防いでまいりました。

第３四半期以降も新型コロナウイルス感染症拡大による不確定で厳しい状況が続くことが見込まれますが、当社は、環境を守り人々の生活を支える企業として、可能な限りの手を尽くしてまいる所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後も何卒一層のご支援とご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2020年８月
代表取締役社長　**松元　孝義**

日本コンセプト株式会社　企業理念

1．わたしたちは、地球の環境破壊を防ぎ、反復利用できる輸送容器を活用した国際総合物流サービスを通じ、人類が未来永劫に亘り活躍できる社会の維持に貢献します。
2．わたしたちは、働く厳しさと喜びを共有するボーダレスな国際総合物流カンパニーとして、高品質でお客様にご信頼いただけるサービスを、責任をもってご提供いたします。
3．わたしたちは、修練された技術のサービスをご提供するため、日頃より克己して研鑽に努めます。
4．わたしたちは、広く社会全体に奉仕する公共性と豊かな国際性を備えた、社会に誇れる環境国際物流企業として邁進します。

事業の概況

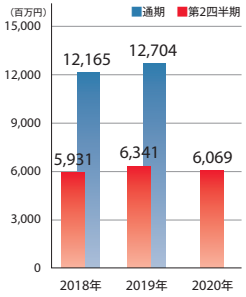
当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の大流行を受け販売が落ち込む自動車を中心に、あらゆる業種で業績が低迷しております。輸出においては、経済活動の正常化が進む中国向けに持ち直しの動きが見られるものの、欧米向けが輸送機械等を中心に大きく下振れしており、減少傾向が続いております。

世界経済に目を向けますと、米国では経済活動の再開が進んだことで製造業の生産に持ち直しの兆しが見られます。また、欧州ではロックダウンが段階的に緩和されて徐々に経済活動を再開しているものの、PMIは依然として「50」を下回っております。他方、一足早く経済活動が再開された中国では、工業生産は前年を上回る水準にまで回復し、成長率は前年同期比プラスに転換する見込みとなっております。

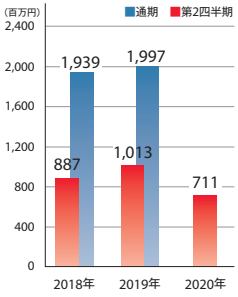
当社グループは、このような厳しいビジネス環境下で輸送本数が前第２四半期連結累計期間における実績を下回るなか、国内・海外を問わず全社挙げての営業活動を強化したことが功を奏し、当第２四半期連結累計期間における売上高は6,069百万円（前期比4.3%減）を確保しました。

財務ハイライト（連結）

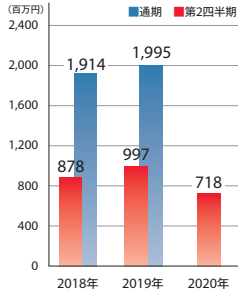
■売上高



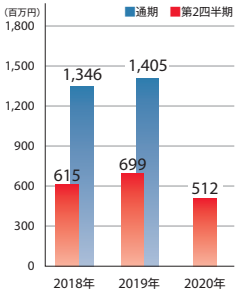
■営業利益



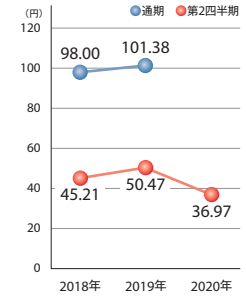
■経常利益



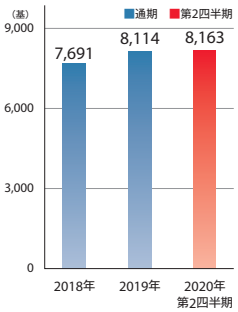
■親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益



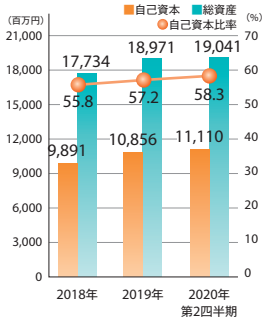
■1株当たり四半期（当期）純利益



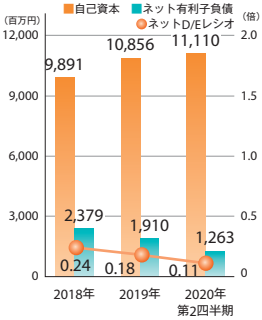
■タンクコンテナ保有基数



■自己資本比率



■ネットD／Eレシオ※



※ ネットD／Eレシオ（倍）＝（有利子負債－現預金）÷自己資本 … 長期の支払能力（安全性）をはかる指標

TOPICS

新ロゴ制定とホームページ刷新について

当社は、輸送時の環境への負荷の少ないISO規格のタンクコンテナを日本に普及させることを通じて世界を相手にビジネスを遂行してまいりましたが、今般、「新ロゴの制定」と「ホームページの刷新」を行いました。

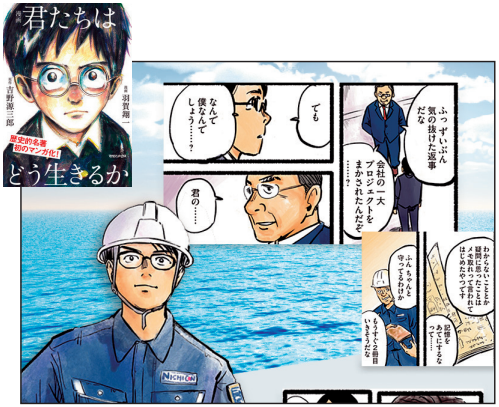
新ロゴの"環境、つなぐ未来。"は、当社の企業理念に掲げる『社会に誇れる環境国際物流企業』として、尊い環境を物流の力で未来の世代に繋ぐことを意味しています。

また、刷新したホームページでは、当社のビジネス、社風、魅力を余すことなく伝える動画や、実在の社員をモデルに新規事業の立ち上げに係るエピソードを描いたマンガなど、最新のコンテンツを盛り込んでおります。



環境、つなぐ未来。

NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION



マンガで読むニチコン
https://www.n-concept.co.jp/saiyo/comic/



会社紹介動画
https://www.youtube.com/watch?v=tt-a_JZ9LYA

連結業績推移

区　分		第24期（2017年12月期）	第25期（2018年12月期）	第26期（2019年12月期）	第27期第2四半期（2020年12月期）
売上高	（百万円）	11,705	12,165	12,704	6,069
売上総利益	（百万円）	3,248	3,398	3,513	1,428
営業利益	（百万円）	1,865	1,939	1,997	711
経常利益	（百万円）	1,772	1,914	1,995	718
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	（百万円）	1,245	1,346	1,405	512
純資産	（百万円）	7,934	9,891	10,856	11,110
総資産	（百万円）	15,657	17,734	18,971	19,041
１株当たり純資産額	（円）	605.79	713.24	782.85	801.18
１株当たり四半期（当期）純利益金額	（円）	95.08	98.00	101.38	36.97
自己資本比率	（%）	50.7	55.8	57.2	58.3
自己資本当期純利益率	（%）	16.6	15.1	13.6	4.7
営業活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	2,102	2,034	2,417	1,371
投資活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	△ 1,490	△ 516	△ 68	△ 1,400
フリーキャッシュ・フロー	（百万円）	611	1,517	2,349	△ 28
財務活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	△ 1,042	△ 166	△ 1,665	△ 472

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科　目	第25期 (2018年12月31日)	第26期 (2019年12月31日)	第27期第2四半期 (2020年6月30日)	増　減
【資産の部】				
流動資産 (※1)	5,711	6,411	6,724	312
現金及び預金	3,772	4,273	4,980	706
売掛金	1,413	1,412	1,364	△ 47
その他	525	727	380	△ 346
貸倒引当金	△ 0	△ 1	△ 0	0
固定資産 (※2)	12,023	12,559	12,317	△ 242
有形固定資産	11,482	12,000	11,783	△ 216
建物及び構築物（純額）	1,564	1,868	1,792	△ 75
機械装置及び運搬具（純額）	340	373	362	△ 11
タンクコンテナ（純額）	7,302	7,503	7,344	△ 159
土地	2,195	2,195	2,195	—
建設仮勘定	44	10	32	22
その他	33	48	55	6
無形固定資産	295	286	258	△ 27
投資その他の資産	246	272	274	1
資産合計	17,734	18,971	19,041	70

（単位：百万円）

科　目	第25期 (2018年12月31日)	第26期 (2019年12月31日)	第27期第2四半期 (2020年6月30日)	増　減
【負債の部】				
流動負債 (※3)	2,986	3,205	3,021	△ 183
買掛金	775	755	749	△ 5
短期借入金	152	219	256	37
1年内返済予定の長期借入金	983	848	769	△ 79
リース債務	393	501	620	119
未払法人税等	347	354	226	△ 128
その他	334	527	400	△ 127
固定負債 (※4)	4,857	4,909	4,909	△ 0
長期借入金	2,656	1,931	1,977	46
リース債務	1,967	2,684	2,620	△ 64
その他	233	293	311	17
負債合計	7,843	8,115	7,930	△ 184
【純資産の部】				
株主資本	9,886	10,875	11,180	304
資本金	1,134	1,134	1,134	—
資本剰余金	1,060	1,060	1,060	—
利益剰余金	7,690	8,680	8,985	304
自己株式	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0
その他の包括利益累計額	5	△ 19	△ 69	△ 50
純資産合計 (※5)	9,891	10,856	11,110	254
負債純資産合計	17,734	18,971	19,041	70

※1　流動資産は、前連結会計年度末に比べ312百万円増加（4.9%増）し、6,724百万円となりました。売掛金が47百万円、その他流動資産が346百万円減少したものの、現金及び預金が706百万円増加したことが主な要因です。

※2　固定資産は、前連結会計年度末に比べ242百万円減少（1.9%減）し、12,317百万円となりました。建設仮勘定が22百万円増加したものの、建物及び構築物（純額）が75百万円、タンクコンテナ（純額）が159百万円、無形固定資産が27百万円減少したことが主な要因です。

※3　流動負債は、前連結会計年度末に比べ183百万円減少（5.7%減）し、3,021百万円となりました。短期借入金が37百万円、リース債務が119百万円増加したものの、1年内返済予定の長期借入金が79百万円、未払法人税等が128百万円、その他流動負債が127百万円減少したことが主な要因です。

※4　固定負債は、前連結会計年度末並みの4,909百万円となりました。リース債務が64百万円減少したものの、長期借入金が46百万円、その他固定負債が17百万円増加したことが主な要因です。

※5　純資産は、前連結会計年度末に比べ254百万円増加（2.3%増）し、11,110百万円となりました。為替換算調整勘定が50百万円減少したものの、利益剰余金が304百万円増加したことが主な要因です。

四半期連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科　目	第25期 2018年１月１日から 2018年12月31日まで	第26期 2019年１月１日から 2019年12月31日まで	第26期第2四半期 2019年１月１日から 2019年６月30日まで	第27期第2四半期 2020年１月１日から 2020年６月30日まで	増　減
売上高 (※6)	12,165	12,704	6,341	6,069	△ 272
売上原価	8,767	9,191	4,601	4,640	39
売上総利益	3,398	3,513	1,740	1,428	△ 311
販売費及び一般管理費	1,459	1,515	726	717	△ 9
営業利益 (※7)	1,939	1,997	1,013	711	△ 302
営業外収益	55	67	15	51	36
営業外費用	80	69	31	44	12
経常利益 (※7)	1,914	1,995	997	718	△ 279
特別利益	0	6	2	—	△ 2
特別損失	1	5	3	1	△ 2
税金等調整前四半期（当期）純利益	1,912	1,996	995	717	△ 278
法人税等	565	590	295	204	△ 91
四半期（当期）純利益	1,346	1,405	699	512	△ 187
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	1,346	1,405	699	512	△ 187

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

科　目	第25期 2018年１月１日から 2018年12月31日まで	第26期 2019年１月１日から 2019年12月31日まで	第26期第2四半期 2019年１月１日から 2019年６月30日まで	第27期第2四半期 2020年１月１日から 2020年６月30日まで	増　減
営業活動によるキャッシュ・フロー (※8)	2,034	2,417	1,500	1,371	△ 129
投資活動によるキャッシュ・フロー (※9)	△ 516	△ 68	△ 174	△ 1,400	△ 1,226
フリーキャッシュ・フロー	1,517	2,349	1,326	△ 28	△ 1,355
財務活動によるキャッシュ・フロー (※10)	△ 166	△ 1,665	△ 874	△ 472	401
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 33	△ 14	△ 30	△ 24	6
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,317	669	421	△ 525	△ 947
現金及び現金同等物の期首残高	2,148	3,466	3,466	4,135	669
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	3,466	4,135	3,887	3,610	△ 277

※6　新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行を受けて取り扱い本数が前第2四半期連結累計期間の実績を下回るなか、国内・海外を問わず全社挙げての営業活動を強化したことにより、当第2四半期連結累計期間における売上は6,069百万円（前年同期比△4.3%）を確保しました。

※7　新型コロナウイルス感染症拡大に伴い様々な国でロックダウンが実施されて貨物の移動が制限されたうえ、タンクコンテナの需要と供給にアンバランスな状況が発生したものの、新しい取引の獲得に注力することにより、営業利益が当初予算を30%以上下振れすることを回避し、711百万円（前年同期比△29.8%）の黒字を維持しました。同じく、経常利益においても、718百万円（前年同期比△28.0%）の黒字を計上することにいたりました。

※8　営業活動の結果得られた資金は、1,371百万円（前年同四半期は1,500百万円の収入）となりました。主な資金の増加要因は、税金等調整前四半期純利益717百万円と減価償却費605百万円であり、法人税等の支払額333百万円が主な資金の減少要因です。

※9　投資活動の結果支出した資金は、1,400百万円（前年同四半期は174百万円の支出）となりました。主な資金の減少要因は定期預金の純増額1,238百万円と有形固定資産の取得による支出158百万円です。

※10　財務活動の結果支出した資金は、472百万円（前年同四半期は874百万円の支出）となりました。主な資金の増加要因は、長期借入れによる収入408百万円であり、主な資金の減少要因は、長期借入金の返済による支出441百万円、リース債務の返済による支出269百万円、及び配当金の支払額207百万円です。

■ 会社の概要

社名	日本コンセプト株式会社
設立	1994年1月
資本金	11億34百万円
従業員数	192名（連結）
業種	ISOタンクコンテナを用いた国際物流業
事業内容	反復利用可能なタンクコンテナを活用した、サステナブルなトータルソリューションの提供 化学品をはじめとした各種の液体や高圧ガスの国際複合一貫輸送 タンクコンテナを活用した貨物の保管、加温、移し替え タンクコンテナのリース、メンテナンス、法定検査 フロンガスをはじめとした各種ガスの保管、回収、再生、無害化 残留貨物の適正な処分
取引銀行	三菱ＵＦＪ銀行、三井住友銀行、 みずほ銀行、商工組合中央金庫、 日本政策金融公庫、その他

■ グループ会社

NIPPON CONCEPT SINGAPORE PTE. LTD.
NIPPON CONCEPT MALAYSIA SDN. BHD.
EURO-CONCEPT B.V.
NICHICON EUROPE B.V.
NICHICON UK LIMITED.
NIPPON CONCEPT AMERICA, LLC.

■ 主な事業所所在地

本社	東京都千代田区内幸町二丁目2番2号 富国生命ビル8階
京浜支店	神奈川県川崎市川崎区浮島町12番8号
京葉臨海支店 京葉臨海高圧ガス事業所	千葉県富津市新富101番5
中部支店 中部営業所	三重県四日市市高浜新町1257番2号
神戸支店 神戸営業所	兵庫県神戸市中央区港島八丁目11番6号
阪神支店 阪神営業所	兵庫県神戸市中央区港島八丁目11番6号
水島支店 水島営業所	岡山県倉敷市玉島乙島7471番252号
徳山支店 徳山営業所	山口県下松市葉山一丁目819番13号
新潟出張所	新潟県新潟市東区船江町一丁目55番30号

■ 役員

代表取締役社長	松元　孝義	社外取締役	桜田　治
取締役副社長	山中　康利	取締役監査等委員	樋川　浩造
常務取締役	若園　三記生	社外取締役監査等委員	有賀　隆之
取締役	岩崎　祐世	社外取締役監査等委員	相浦　義則
取締役	河村　信三	社外取締役監査等委員	関　常芳

■ 株式の状況

発行可能株式総数	46,992,000 株
発行済株式総数	13,868,500 株
株主数	5,889 名

上位10名の株主の状況

株主名	持株数（株）
松元　孝義	2,931,500
株式会社商船三井	2,080,300
山中　康利	1,339,800
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	850,500
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	645,000
有限会社エスアンドアール	600,000
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	544,900
株式会社三菱UFJ銀行	300,000
株式会社三井住友銀行	300,000
有限会社エムアンドエム	300,000

■ 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
単元株式数	100株
基準日	12月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　証券代行部
上場取引所	東京証券取引所　市場第一部
証券コード	9386
公告方法	当社の公告方法は、電子公告としております。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。 当社の公告掲載URLは次のとおりであります。 https://www.n-concept.co.jp/

（ご注意）
1．住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
　株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
　なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社にお申し出ください。
2．未払配当金の支払いについて
　株主名簿管理人である三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社にお申し出ください。

VEGETABLE OIL INK

FSC www.fsc.org　ミックス　責任ある木質資源を使用した紙　FSC® C022915